

雨庭大改造計画 第二弾 6月26日(土)

平家物語の冒頭、「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。沙羅双樹の花の色盛者必衰の理をあらわす」



沙羅双樹はナツツバキといわれているが、竹ちぐらのところに一面に落花が敷き詰められていました。



計画では6月19日に第二弾の実施を予定していましたが、雨で一週間の順延。

6月26日は雨の心配もなく、予定時刻に駆けつけていただいた協力会会員、東北工業大学の学生さん、ボランティアの皆さん、総勢16人の大部隊で前回途中で終わっていた雨庭作りを実施。



今回の作業は主に玉切りの松の丸太の固定作業。土の中に埋める作業とクサビで固定する作業。短時間で終わった。

次はいよいよ土を盛ってアヤマカキツバタか花菖蒲の圃場を作る作業になります。

【沙羅双樹はナツツバキではなく、仏教思想上の沙羅双樹とも言われています】～参考までに～

次回の予定はまだ決定していませんが、決まり次第皆様に連絡させていただきますので、ご協力お願いいたします。





応援に駆けつけていただいた工大の庄司さんと後藤さん。高橋会長と記念撮影。有難うございました。若い力は素晴らしいです。



食料調達部の部長さんと副部長さん。ラベンダー畑の下に種から育てているヒマワリの間引き作業をしていました →



今回も美味しい昼飯を用意していただきました。感謝です。